

# 他機関が実施する調査データ分析結果報告

(第 27 回長浜企業景況調査参考資料)

報告年月 令和 5 年 5 月

長浜商工会議所

---

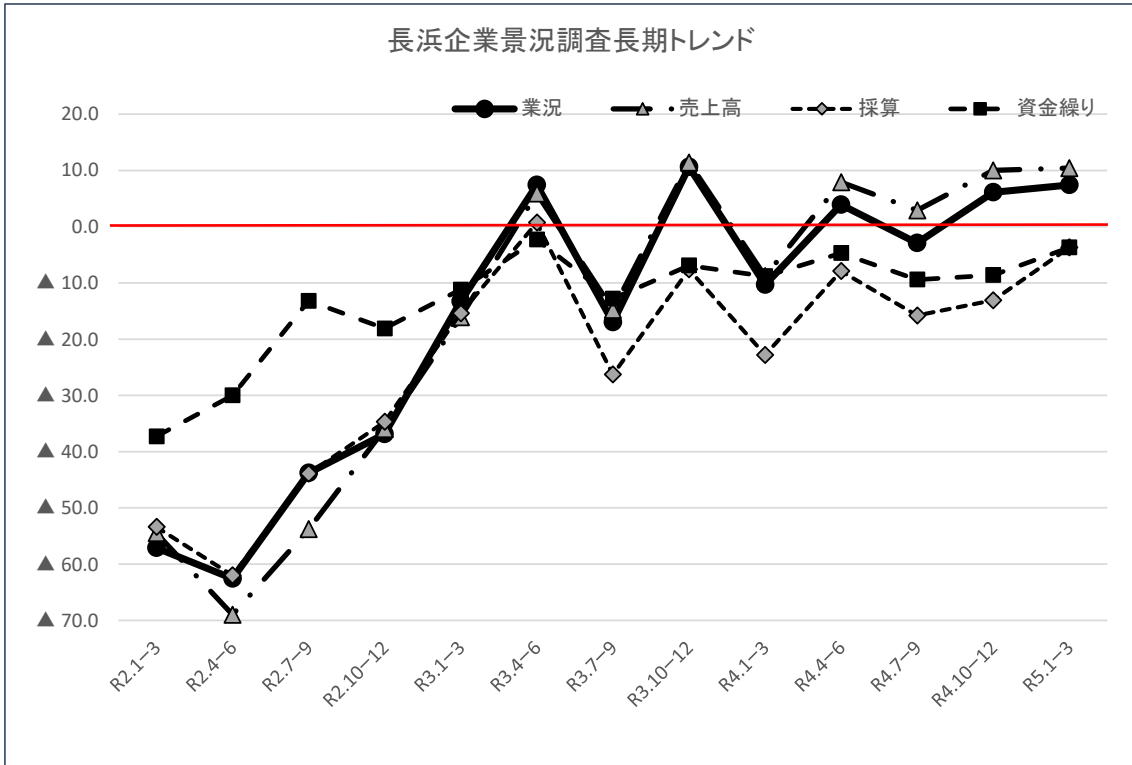
## 目 次

1. 長浜市の景況	
(1) 長浜企業景況調査…各種D I の長期トレンド	1
(2) 長浜企業景況調査…業種別・価格転嫁動向の推移	1
2. 滋賀県の景況	
(1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）	2
(2) 県内経済概況（(株)しがぎん経済文化センター編）	5
(3) 中小企業アンケート結果（滋賀県信用保証協会編）	7
3. 近畿の景況	
(1) 地域経済動向（近畿）（内閣府編）	8
(2) 中小企業景況調査（近畿）（中小企業基盤整備機構編）	8
4. 全国の景況	
(1) 日銀短観（日本銀行）	9
(2) 中小企業景況調査（全国）（中小企業基盤整備機構編）	11

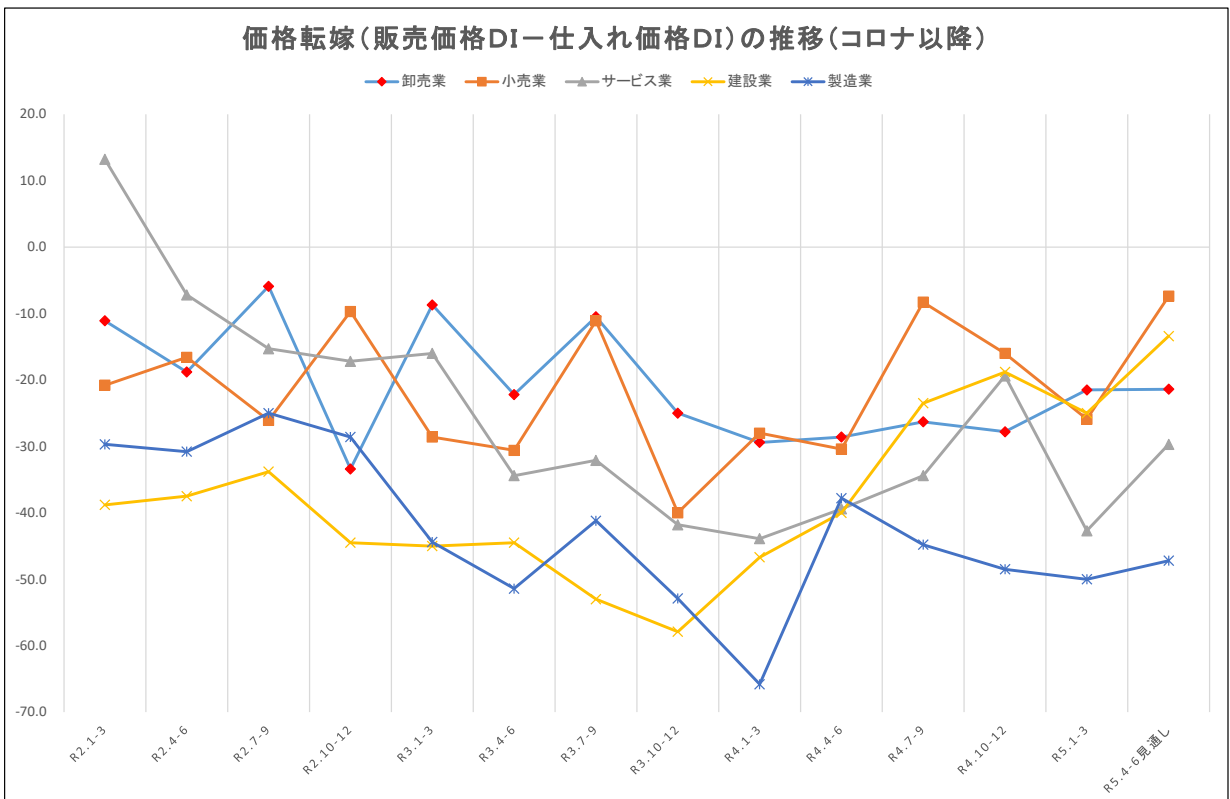
※本資料は上記資料をもとに作成したが、一部加筆変更部分が含まれる。

# 1. 長浜市の景況

## (1) 長浜企業景況調査…各種DIの長期トレンド [前年同期比較]



## (2) 長浜企業景況調査…業種別・価格転嫁動向の推移 [前年同期比較]



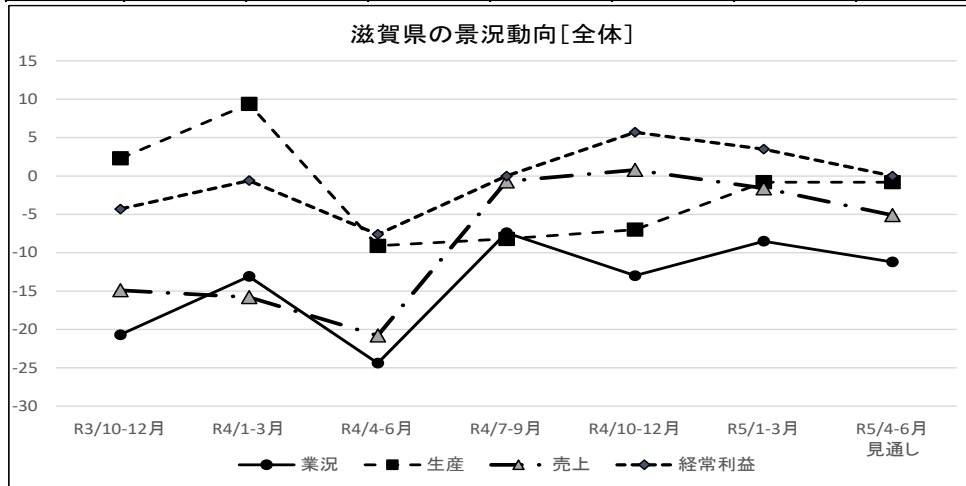
## 2. 滋賀県の景況

### (1) 滋賀県景況調査報告（滋賀県商工政策課編）

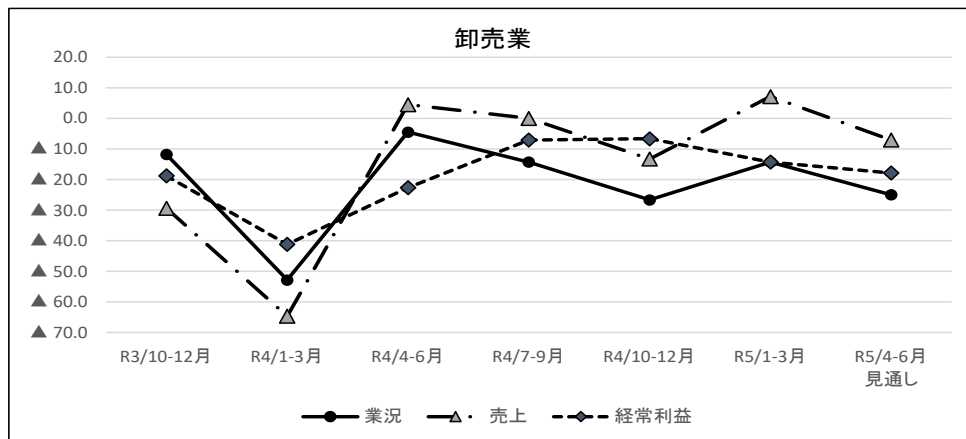
① 滋賀県の業種別景況動向（表中の傾向欄…●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。）

（R5/1-3月実績、R5/4-6月見通し）〔前年同期比較〕

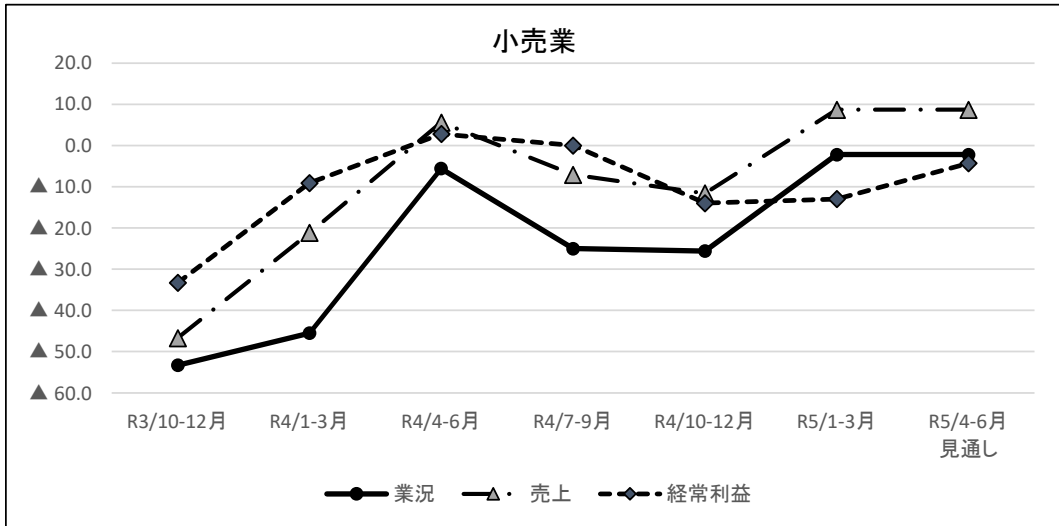
全体	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 11.5
生産	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 5.6
売上	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.7
経常利益	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	▲ 1.4
資金繰り	▲ 4.8	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 7.6
雇用の水準	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 42.4
傾向	●	×	●	×	●	×	×



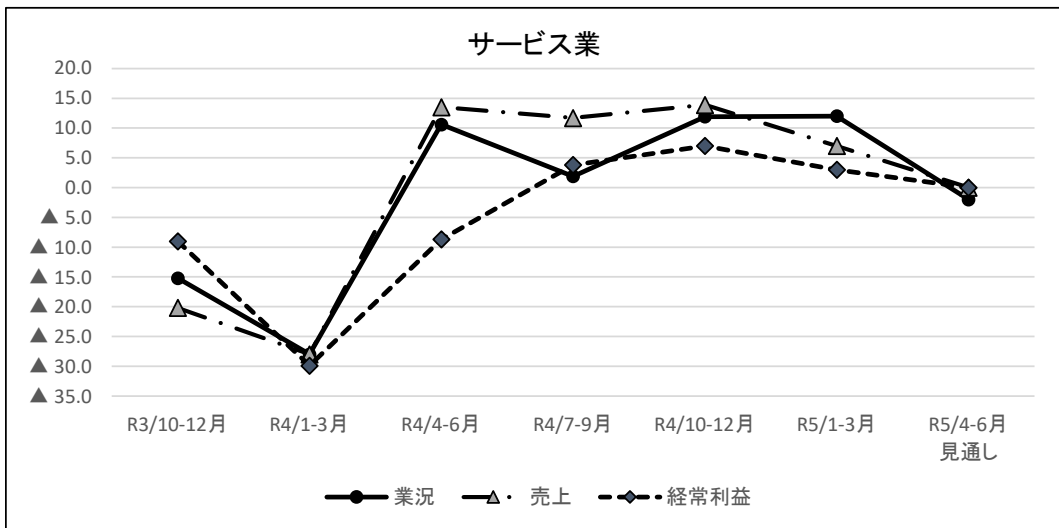
卸売業	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	▲ 25.0
売上	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	▲ 7.1
経常利益	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 17.9
資金繰り	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 9.1	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 25.0
傾向	●	×	●	×	×	●	×



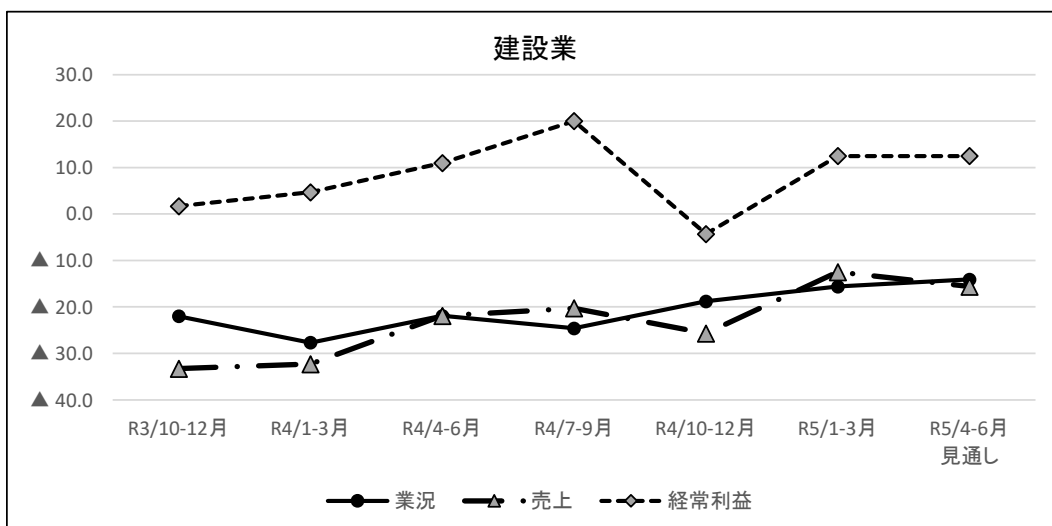
小売業	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 2.2
売上	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	8.7
経常利益	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	▲ 4.3
資金繰り	▲ 32.1	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 13.0
傾向	×	●	●	×	×	●	▲



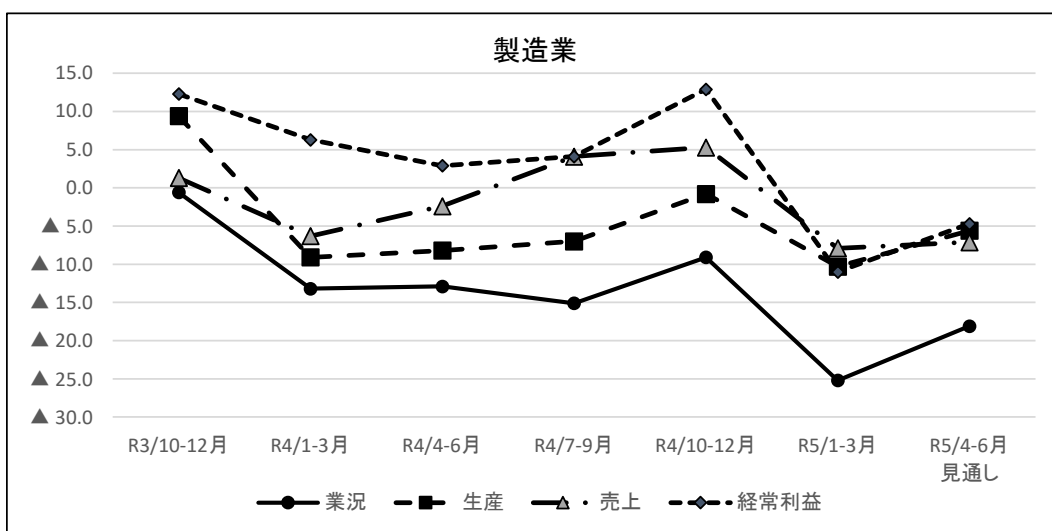
サービス業	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	▲ 2.0
売上	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	0.0
経常利益	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	0.0
資金繰り	▲ 17.4	▲ 34.3	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 4.1	▲ 11.1	▲ 2.0
傾向	●	×	●	×	●	●	×



建設業	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 14.1
売上	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 15.6
経常利益	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	12.5
資金繰り	▲ 16.1	▲ 13.3	▲ 11.0	▲ 2.9	▲ 4.5	▲ 15.6	▲ 15.6
傾向	×	×	●	×	●	●	●



製造業	R3/10-12月	R4/1-3月	R4/4-6月	R4/7-9月	R4/10-12月	R5/1-3月	R5/4-6月 見通し
業況	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 18.1
生産	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 5.6
売上	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 7.1
経常利益	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	▲ 4.7
資金繰り	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.1
傾向	●	×	●	×	●	×	●



## ② 滋賀県の景況調査 [企業から寄せられたコメント]

滋賀県内企業のコメント (R5/1-3月期)
<p><b>業況判断【好転】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月からの全国旅行支援による売上増加。徐々に訪日外国人も戻りつつあり売上増加（サービス業）。</li> <li>・昨年が悪すぎたので今年は好転しているが、通常に比べると良くない（建設業）。</li> <li>・景気は良くなったが、人手不足のためフルに売上を上げることができない（サービス業）。</li> <li>・コロナ禍が収束に向かい、客数がコロナ前に戻ってきているが、各部署の人手不足発生と原料資材の高騰とエネルギー費の増大が収益を圧迫している（小売業）。</li> </ul> <p><b>業況判断【不変】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前までには回復していないが、コロナの影響は減ってきている（製造業）。</li> <li>・昨年実績を守るのが精いっぱい、どちらかと言うとシリ貧傾向（卸売業）。</li> <li>・最低賃金上昇分が請負単価に反映できないので経営が苦しい（サービス業）。</li> <li>・物価と金利の上昇の影響や、景気動向がエンドユーザーの予算にマイナスに影響してきていると感じる（サービス業）。</li> <li>・国のコロナウイルス感染症「5類」移行で、人の移動が活発になると思う（小売業）。</li> </ul> <p><b>業況判断【悪化】企業コメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格・燃料費の価格上昇に伴い、利益は悪化（製造業）。</li> <li>・新車納期末定の為、売上げが出来ない（小売業）。</li> <li>・客先のコストダウン要求が厳しく、その中で材料高や円安の影響もあり仕入コストが大幅にアップしており採算が悪化している（製造業）。</li> <li>・従業員の不足により、仕事量を増やせない。募集はしているが、全く反応はない（サービス業）。</li> <li>・原材料高騰及び、人件費高騰により一層悪化する見通し（建設業）。</li> </ul>

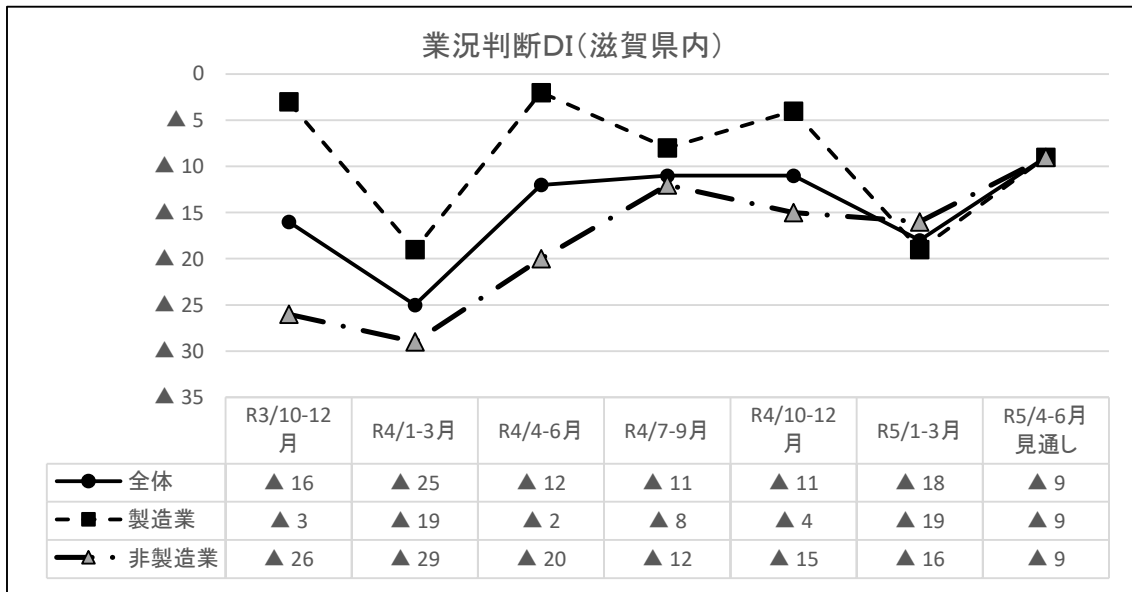
## (2) 県内経済概況(株しがぎん経済文化センター編)

### ① 県内経済概況「概況」(令和5年2月ー令和5年4月公表)

R5/1	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、一進一退の動きの中で持ち直している。需要面では、小売業6業態計売上高の増加が続いている。投資需要では、民間設備投資は4か月ぶりの大幅増加となったものの、住宅投資は持家の動きが鈍いことから5か月ぶりの減少となり、公共投資も大幅減少が続いている。したがって県内景気の現状は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
R5/3	緩やかに持ち直している	製造業の生産活動は、一進一退の動きの中で持ち直している。需要面では、県の経済対策の効果が一部にみられることから、小売業6業態計売上高の増加が続いている。投資需要では、民間設備投資は特殊要因があり大幅な増加となっているが、住宅投資は持家やマンションの動きが鈍いことから大幅の減少となり、公共投資も大幅減少が続いている。したがって県内景気の現状は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
R5/4	持ち直しの動きがやや弱まっている	製造業の生産活動は、一進一退の動きの中で弱まっている。需要面では、小売業6業態計売上高の増加が続いているが、物価上昇分を勘案するとマイナスとなった。投資需要では、住宅投資と公共投資が大幅増加に転じたものの、民間設備投資は前年の特殊要因を除いても減少している。したがって、県内景気の現状は、持ち直しの動きがやや弱まっているとみられる。

※内容は前月データに基づくコメント。

② 県内企業動向調査(R5/1-3月実績、R5/4-6月見通し) [前期比較]



現在の景況感は1年ぶりの悪化となるも、3カ月後はコロナ禍前水準までの回復を見込む

	回答社数	R4/10-12月期	R5/1-3月期	傾向	R5/4-6月期見通し
<b>製造業</b>	<b>119</b>	<b>▲ 4</b>	<b>▲ 19</b>	<b>×</b>	<b>▲ 9</b>
繊維	7	▲ 29	▲ 57	×	▲ 57
木材・木製品	-	-	-	-	-
紙・パルプ	-	-	-	-	-
化学	11	18	0	×	▲ 9
石油・石炭	-	-	-	-	-
窯業・土石	-	-	-	-	-
鉄鋼	-	-	-	-	-
非鉄金属	-	-	-	-	-
食料品	11	▲ 13	▲ 9	●	0
金属製品	14	0	▲ 14	×	▲ 29
一般機械	9	30	0	×	0
電気機械	-	-	-	-	-
輸送用機械	-	-	-	-	-
精密機械	-	-	-	-	-
その他	28	▲ 4	▲ 7	×	11
<b>非製造業</b>	<b>162</b>	<b>▲ 15</b>	<b>▲ 16</b>	<b>×</b>	<b>▲ 9</b>
建設	45	▲ 9	▲ 9	▲	▲ 2
不動産	14	0	0	▲	▲ 14
卸売	30	▲ 39	▲ 3	●	▲ 4
小売	28	▲ 47	▲ 46	●	▲ 15
運輸・通信	11	▲ 13	▲ 18	×	▲ 36
電気・ガス	-	-	-	-	-
サービス	21	8	▲ 14	×	▲ 5
リース	-	-	-	-	-
その他	10	9	▲ 10	×	0

③ 県内経済概況「県内景気天気図」(変化方向)

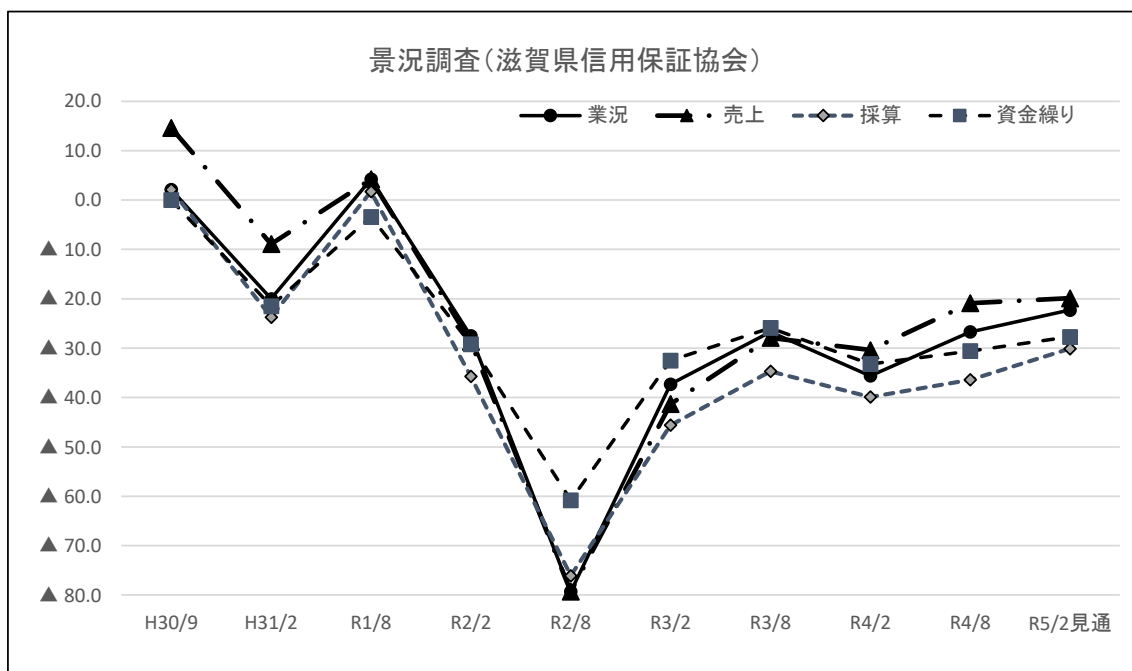
県内景気天気図	R4/10	R4/11	R4/12	R5/1	R5/2	R5/3
現在の景気	▲	▲	▲	▲	▲	▲
3か月後の景気	▲	▲	●	▲	▲	▲
生産活動	●	×	●	●	×	▲
個人消費	▲	●	●	●	▲	▲
民間設備投資	×	×	●	●	▲	×
住宅投資	▲	▲	×	×	●	▲
公共投資	●	×	×	×	●	●
雇用情勢	●	●	▲	▲	×	▲

\* 変化方向…前月比、●は好転、▲は横ばい、×は悪化を示す。

(3) 中小企業アンケート結果(滋賀県信用保証協会編)

○景況調査結果 (R4/8)

実施内容	調査時期：令和4年8月		調査方法：無記名アンケート方式	
		配布数： 500	回答数： 206	回答率： 41.2%
業種構成	建設業 26.2%	サービス業 18.0%	製造業 17.0%	
	小売業 12.1%	不動産業 11.7%	運輸通信業 6.8%	
	卸売業 3.4%	その他 2.4%		
従業員規模	5人以下： 50.0%	6～20人： 35.0%	21人以上： 14.6%	





### 3. 近畿の景況

#### (1) 地域経済動向 (近畿) (内閣府編)

令和5年3月

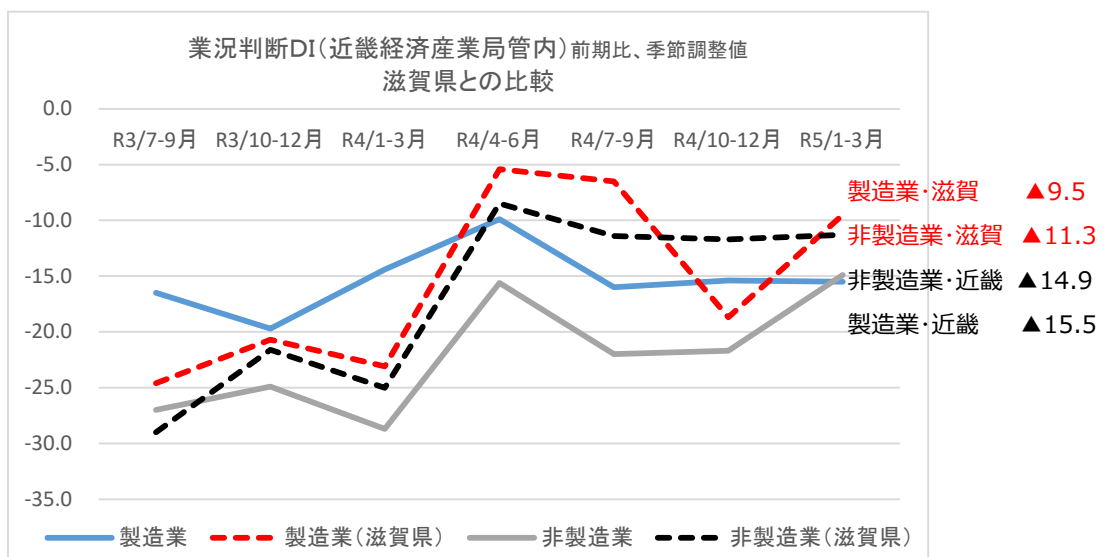
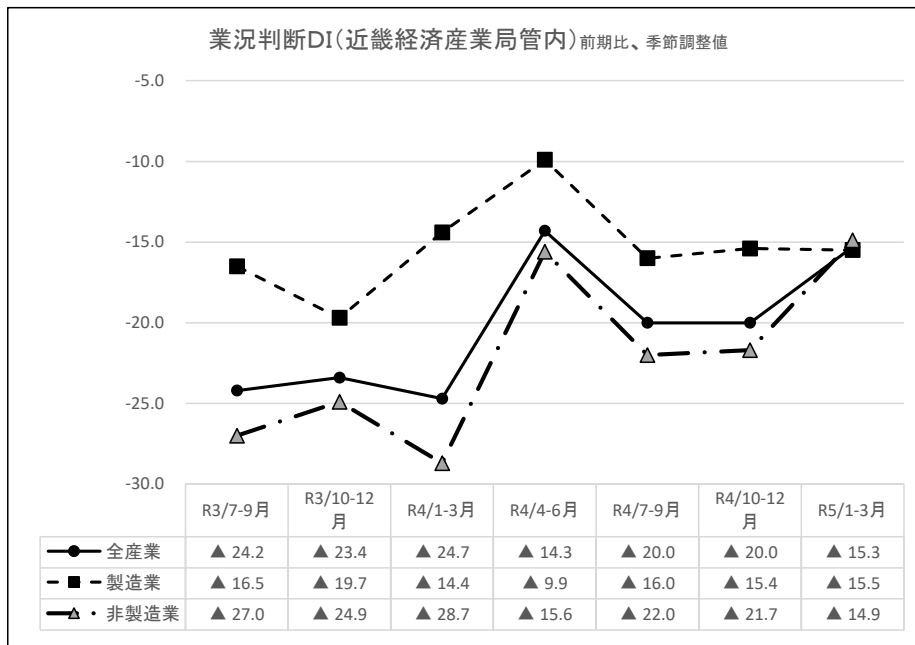
近畿地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

#### (2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編)

「近畿地域」：業況判断DI [前期比較]

##### ① 業種別業況判断DI



## 4. 全国の景況

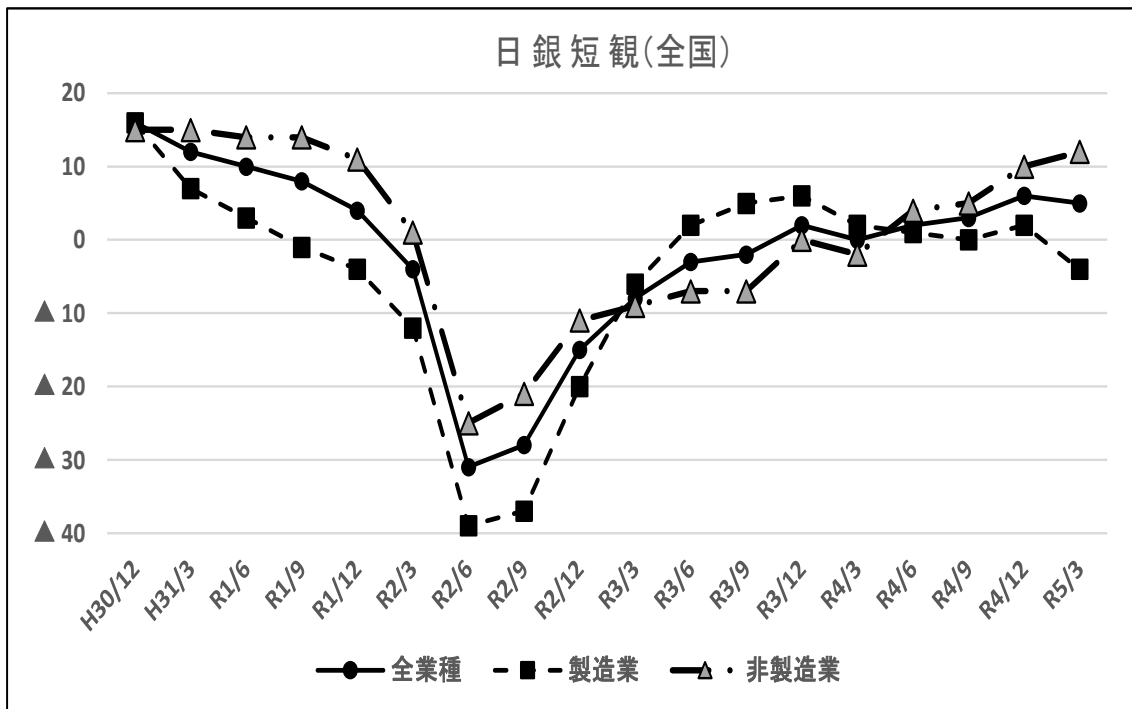
### (1) 日銀短観（日本銀行）：業況判断 DI [前期比較]

#### ① 概況

- ・大企業製造業は、前回調査（12月調査）から6ポイント悪化の1となった。世界経済の減速により需要が落ち込む中、素材業種では市況の悪化による在庫評価損も影響し、石油・石炭製品や化学を中心に業況感は前回調査から8ポイント悪化した。また加工業種では、半導体不足の影響が緩和しつつある自動車では業況感が改善したものの、需要の落ち込みから生産にブレーキが掛かっている半導体や電子部品等の電気機械を中心に、業況感は前回調査から6ポイントの悪化となった。
- ・大企業非製造業は、コロナ禍での経済活動に関する制約が徐々に解消される中、前回調査から1ポイント改善の20と、コロナ前の2019年12月調査と同じ水準まで回復した。国内需要や訪日外国人の回復等を受けて、小売や対個人サービスを中心に業況感の改善が続いた。
- ・中小企業の業況判断DI（最近）は、製造業では前回から4ポイント悪化の一6、非製造業では2ポイント改善の8となった。大企業と同様に、業況感は製造業で悪化する一方、国内需要や訪日外国人の回復に併せて、非製造業では改善が続いた。

（三菱UFJリサーチ&コンサルティング「経済レポート」（2023年4月3日）より）

#### ② 業種別業況判断 DI



### ③ 設備投資計画（含む土地投資額）

- ・2022年度の全規模全産業の設備投資計画（含む土地、ソフトウェアと研究開発投資額は含まない）は前年度比+11.4%であった。内訳を見ると、製造業が同+15.7%、非製造業が同+8.9%である。
- ・2023年度の設備投資計画（全規模全産業、同ベース）は前年度比+3.9%であり、製造業が同+6.3%、非製造業が同+2.4%であった。経済活動の正常化が進展することへの期待感などから、設備投資意欲が高まっているとみている。  
（大和総研「Indicators Update」(2023年4月3日)より抜粋)
- ・中小企業の2023年度計画では、製造業でソフトウェア投資が、非製造業では研究開発投資が目立っている。

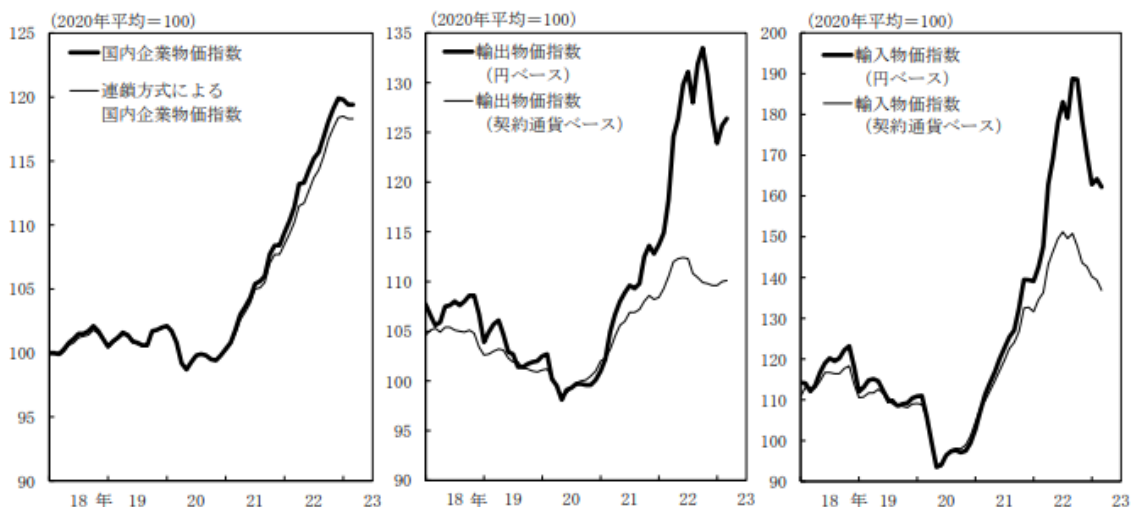
設備投資計画 (含む土地投資額)		2022年度 (計画)	2023年度(計画) 3月調査	ソフトウェア投資額		2022年度 (計画)	2023年度(計画) 3月調査
大企業	製造業	17.8	5.8	大企業	製造業	19.7	5.7
	非製造業	15.6	1.6		非製造業	12.3	6.1
中小企業	製造業	10.0	2.2	中小企業	製造業	15.0	12.5
	非製造業	-4.2	1.0		非製造業	0.8	3.7

\*含む土地投資額、除くソフトウェア投資額及び研究開発投資額

土地投資額		2022年度 (計画)	2023年度(計画) 3月調査	研究開発投資額		2022年度 (計画)	2023年度(計画) 3月調査
大企業	製造業	-18.4	-8.7	大企業	製造業	9.8	0.6
	非製造業	35.0	-6.5		非製造業	10.0	1.6
中小企業	製造業	27.7	-46.4	中小企業	製造業	5.2	3.3
	非製造業	-1.9	-21.9		非製造業	37.8	24.3

### ④ 企業物価指数（2023年3月速報）

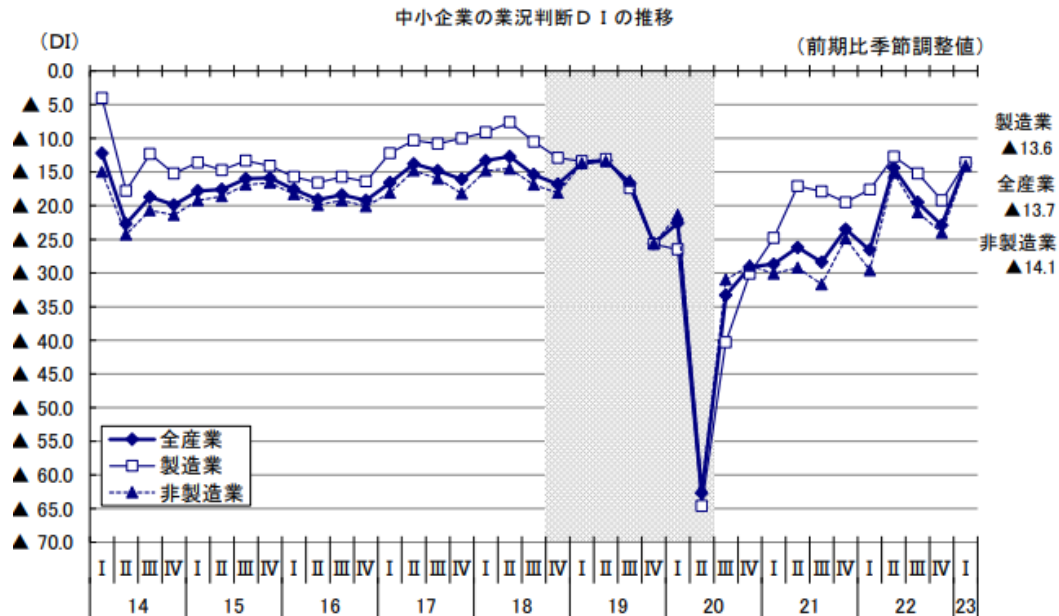
3月の国内企業物価指数は119.4、前年比7.2%でプラスは25カ月連続だが3カ月連続でプラス幅縮小。2月から反映されている政府の電気・ガス価格激変緩和対策事業が0.7%に寄与。輸入物価指数（円ベース）は前年比9.9%でプラスは25カ月連続。伸び率は前月の15.1%から縮小したため、燃料費や原材料を価格転嫁する動きは緩やかになってきた（日銀）。



## (2) 中小企業景況調査 (中小企業基盤整備機構編) 「全国」 [前期比較]

### ①業種別業況判断DI

全産業の業況判断DIは▲13.7 (前期差 9.2 増) となり 3 期ぶりに上昇した。製造業は▲13.6 (同 5.6 増)、非製造業は▲14.1 (同 9.9 増) で両業種とも 3 期ぶりに上昇した。



(注) シャドー部分は景気後退期

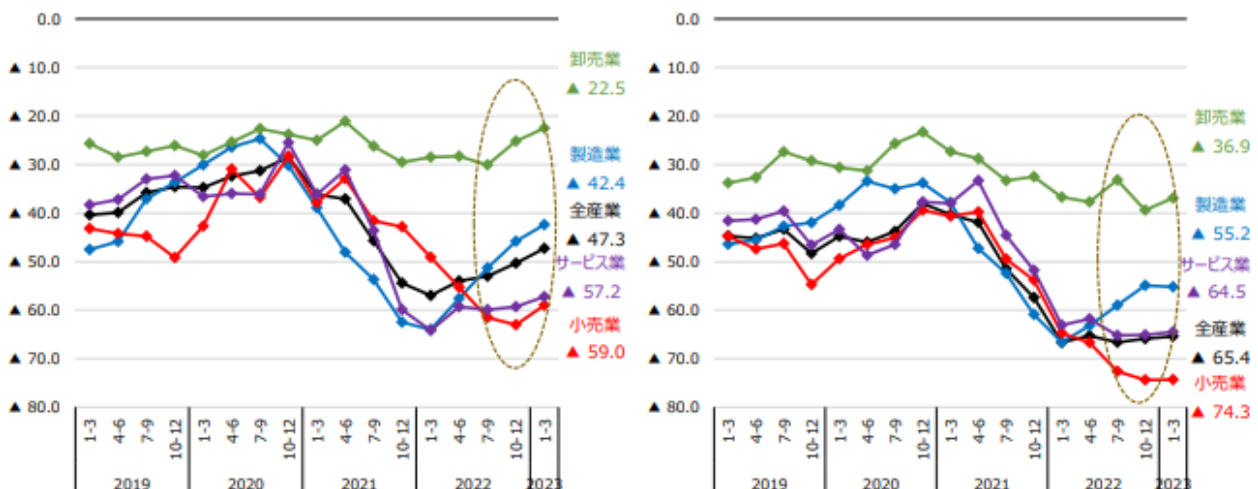
### ②トピックス：価格転嫁の動向

「売上単価・客単価DI」と「原材料・商品仕入単価DI」の差から原材料等の上昇に対する売上単価への価格転嫁動向をみると、中規模企業が上昇基調であるのに対して小規模企業は横ばい基調かつ水準も低く、特に小売業での価格転嫁が進んでいないと考えられる。

【「売上単価・客単価DI」 - 「原材料・商品仕入単価DI」】

【中規模】

【小規模】



※前年同期 (2022年1-3月期) と比べて「上昇」「不変」「低下」で回答。 ※建設業は、「売上単価・客単価」が調査対象外のため該当データ無し。

(中小企業診断士 川副 郷一郎)